

月刊 やちまなこ

2020. 7.15 発行

No.272

7月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

久々の晴れ間の下、牧草地では一番草の刈り取りが始まり、トラクターが慌ただしく走り回っている。しばらくすると、トビやカラス、キタキツネ、タンチョウなどが交互に姿を現し、刈り取りの終わった牧草地は格好の餌場となっていた。夏の訪れた釧路湿原はいつもと変わらない景観が広がっているが、今年は雨や曇りの日が続いている。朝露に濡れたフィールドに今が盛りとハシドイの花が咲き誇り、辺りに芳香を放っている。淡いクリーム色の花には虫たちも集い、時折スズメバチの飛来に一瞬驚く。驚くと言え、帰り道で黒い動物と出会った。ヒグマの子…！と思ったら、目に青さの残るエゾタヌキの子だった。



塘路フィールドノート【6/15～7/14】

【野鳥】

樹々の葉が生い茂る夏は小鳥たちの姿がなかなか見えません。たまに姿を現してもすぐに木の葉の陰に隠れてしまい、見失ってしまうこともしばしば。もどかしい半面、姿を捕らえた時の喜びも大きいこの時期の野鳥観察です。



アオジ（塘路湖畔）

樹上でさえずる。天候不順の影響からか、今年は例年よりもややおとなしい印象です



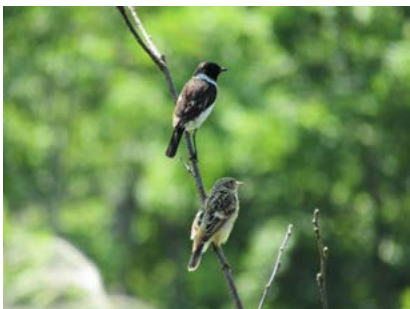
カワラヒワ（塘路湖畔）

パークゴルフ場付近でよく見かけます。4～5羽ほどで行動していることが多いです



スズメ(左)とニュウナイスズメ(右)（塘路湖畔）

お互いに知らんぷりを決め込んでいる感じの2羽。実は意外に珍しいツーショット



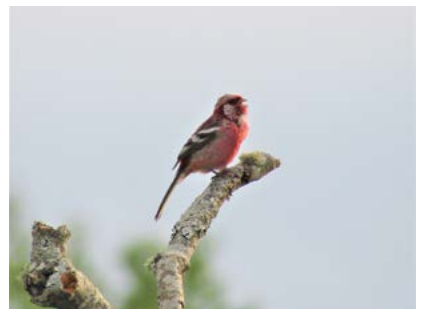
ノビタキ（サルルン沼周辺）

親子らしき2羽。（上が成鳥で下が幼鳥）仲良く並んで同じ方向を観察していました



ビンズイ（塘路湖畔）

こちらの気配に驚いて歩道脇の藪から枝に上がったところ。春以来久々の確認でした



ベニマシコ（塘路湖畔）

今の時期比較的観察しやすい種。枯れ枝の先にちょうどよく止まってくれました

◎野鳥たちの子育て

春から夏にかけての時期は野鳥たちの子育てシーズン。お腹を空かせたヒナのために何度も餌を運ぶ親鳥たちの奮闘ぶりを見ていると、何だかほっこりします。春に産まれたヒナたちはすくすくと成長し、湖畔を元気いっぱい飛び回る姿も見られるようになってきました。



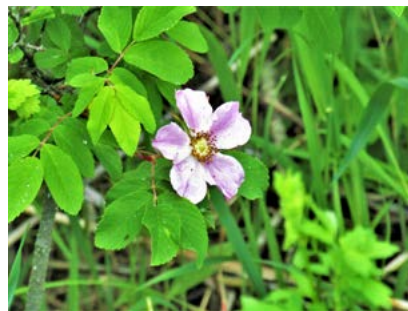
左：マガモの親子（ヒナは全部で10羽）
中：親鳥（右）から餌をもらうオオアカゲラの幼鳥
右：道路標識の支柱に作った巣に餌を運ぶニューナイスズメの母親

【植物】

ここひと月ほど雨と霧の天気が続いている塘路湖畔。湿気たっぷりの空気の中、植物たちはイキイキとしているように見えます。ただ、夏とは思えない寒さが続いたことで、夏の花々の開花が例年よりやや遅れ気味なようです。



クサノオウ（塘路湖畔）
森や草原など多様な環境で見られる花。雨上がりには鮮やかな黄色がより際立ちます



カラフトイバラ（塘路湖畔）
昨年よりもやや遅れて開花しました。現在花はピークを過ぎ、真っ赤な実を付けています



エゾタツナミソウ（フイトナツの森）
薄暗い樹林下で開花中。個体数は多くないものの、局所的に小規模な群落が見られます



シコタンキンポウゲ（塘路湖畔）
初夏に見られる黄色い花の代表格。丸みを帯びた花には柔らかな雰囲気漂います



ホザキシモツケ（塘路湖畔）
今一番旬の花。鮮やかなピンク色の花は湖畔に咲く花々の中でも随一の華やかさです



クサフジ（塘路湖畔）
セセリチョウなどの昆虫が好んで訪れる花。国道の土手沿いでたくさん咲いています

【昆虫】

夏と言えば昆虫の季節ですが、今年は天候不順もあってなかなか昆虫たちの活動が活発化してきません。7月に入って少しずつチョウの仲間が増えてきたものの、探さなくても普通に姿が見られたここ数年に比べると寂しい感じです。



エゾイトトンボ（塘路湖畔）
塘路湖畔で最も普通に見られるイトトンボ。ササの葉の上で休んでいる姿をよく見ます



コキマダラセセリ（サルルン沼周辺）
しばらく目で追ってようやく近くの葉に止まったところ。今シーズンの初確認でした



フタスジチョウ（塘路湖畔）
センターの入り口付近で発見。チョウの姿が少ない中でこの種は比較的によく見ます

◎土器作りを体験

4日、自然ふれあい行事「縄文土器作り講座」を開催しました。

はじめに縄文時代の釧路湿原や塘路周辺の遺跡や土器について説明したあと、早速粘土を使って土器作りを行いました。器の底の部分を作ったあと、ひも状にした粘土をその上に積み上げながら土器を作り、出来上がった土器表面に様々な縄目や木の枝、貝殻などを使って文様付け作業となりました。力加減によって文様の表現も変わり、各自思いのこもったオリジナル土器が出来ました。

しばらく乾燥させたあと、8月上旬頃に野焼きをして完成させます。参加者8名



8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

夏休み 釧路湿原キノコ観察会

[日 時] 8月1日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森
(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

釧路湿原 自然と歴史を訪ねて

[日 時] 8月8日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森
(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアム
センターまで

温根内周辺の外来植物を探そう

[日 時] 8月2日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

ザリガニウォッチング

～ウチダザリガニ編～

[日 時] 8月16日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 6/15(3:42,19:03). 6/30(3:46,19:06). 7/14(3:55,19:00)

～編集後記～

■夏の訪れとともに観光客の姿も週末を中心に多くなり始めましたが、昨年と比べ、コロナウイルスの影響で少ないようです。それでも塘路湖では色とりどりのカヌーやサルボ展望台へ向かう人の姿が見えます。現在コッタロ湿原展望台へ向かう道道クチョロ原野塘路線は春の大雨の影響で、二本松橋の橋脚が損傷して通行止めとなっています(塘路から二本松橋手前まで利用可)。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料